

会 議 録

全部記録 要点記録

1 会 議 名	姫路市地域医療連絡会議（第3回）
2 開催日時	平成28年12月27日（火曜日） 14時～15時15分
3 開催場所	姫路市防災センター5階 会議室
4 出席者又は欠席者名	委員 18名、オブザーバー 6名（オブザーバー 1名）
5 傍聴の可否及び傍聴人数	傍聴可、なし
6 議題又は案件及び結論等	<ol style="list-style-type: none">1 開会2 議題<ol style="list-style-type: none">(1) 統合再編基本計画について(2) 医療系高等教育・研究機関にかかる協議・検討状況について(3) 来年度のスケジュールについて3 閉会
7 会議の全部内容又は進行記録	詳細については別紙参照

	<p>1 開会 (14:00)</p>
	<p>2 議題</p>
A委員	<p>(1) 統合再編基本計画について 資料1・2</p> <p>資料1 P4「第9 現病院の跡地利用」の中で「製鉄記念広畑病院が担ってきた姫路市南西部地域の医療提供の確保を図っていく。」と記載しているが、後医療の具体的な機能、病床数ほどの程度確保しなければならないと考えているのか。</p> <p>また、新病院の病床数は新たに確保するのか、既設の病床の移設を考えているのか。</p>
Bオブザーバー	<p>製鉄記念広畑病院の三次救急の機能は、新県立新病院が継続することとなるが、南西部地域の後医療は、一定の急性期を担うことができる病床数を持つ病院となると考えている。</p> <p>病床は、基本的には本圏域内での調整となると考えているが、現在交渉中である。</p>
A委員	<p>製鉄記念広畑病院でさえ経営に苦慮している。現既存施設を利用し制約された中で、今後、安定した医療が継続的に提供できるのかを心配している。</p> <p>資料2 P40「VI 現病院の跡地利用」の中で「統合再編新病院の整備工事着手までに後医療の確保に向けた協議・調整を行う。」と記載しているが、平成31年度から工事着手するため、平成30年度までに確保できるのか。また、確保できなければ工事着手は先延ばしになるのか。</p>
Bオブザーバー	<p>後医療を考えた場合、財務諸表などを確認し安定経営できるかどうかが大きなポイントとなってくる。現病院の跡地利用については、平成31年度までに解決しなければならない課題であり、製鉄記念広畑病院の思いも同じで、南西部地域の医療をないがしろにして統合することはできないと思っている。</p>
C委員	<p>(2) 医療系高等教育・研究機関にかかる協議・検討状況について 資料3</p> <p>お願いとしてだが、市が作成した資料3に記された兵庫県の役割として、P1に「高等教育研究機関の目的を達成できるよう連携・協働」とあり、P5にも新県立病院の役割として再度記述しているにも関わらず、具体的な目的についてはP4上段部分にしか示されていない。決定過程も不明確である。目的の決定については獨協学園、姫路市及び兵庫県でしっかり議論して決定していただきたい。本会議においてもその決定について議論・説明いただきたい。</p>
事務局	<p>今後そのように協議していきたい。</p>
A委員	<p>P7下段「イベントゾーンにおける施設相互間の連携イメージ」は、各分野と連携し、詳細に内容を協議し作成する必要があるのではないかと。</p>
事務局	<p>整備場所がイベントゾーンにおける高等教育・研究エリアであり、医療系</p>

A委員	<p>高等教育・研究機関が新県立病院内に整備されることから、市長公室において可能ではないかと示したものである。今後、具体的な内容については、協議していきたいと考えている。</p> <p>医療系高等教育・研究機関、新県立病院及び文化コンベンション施設の三者がどのように連携できるのか心配している。今後、各分野としっかりと連携・協議し詳細な内容まで決めてもらいたい。</p>
事務局	<p>今後、関係者と連携の上、協議、検討していく。</p>
D委員	<p>(3) 来年度のスケジュールについて 資料4</p> <p>(4) その他</p> <p>小児科医の立場からのお願いであるが、小児周産期医療については、現在、姫路赤十字病院が本市の核として、総合周産期母子医療センターを担っていただいている。新県立病院において地域周産期母子医療センターを設置されるということであるが、姫路赤十字病院の立ち位置を崩さないように配慮願いたい。</p> <p>また、新県立病院の小児科医は、神戸大学医局からの派遣が多くなることが想定される。姫路赤十字病院の小児科医も神戸大学医局から派遣いただいているため、小児科医の引き抜きは絶対に行わないでいただきたい。</p>
Bオブザーバー	<p>新県立病院は、総合周産期母子医療センターを補完するために必要な機能を整備した地域周産期母子医療センターを設置することを考えている。</p> <p>小児科医の派遣については、大学医局によるところであるが、県としては、現在の医療資源を保ったままでの派遣をと考えている。</p>
座長	<p>姫路市医師会としての意見については、内部で集約した上で、県へ要望したい。</p>
E委員	<p>本圏域は、小外傷の対応に苦慮している。検討委員会報告書にあった小外傷の対応について、県立姫路循環器病センターと製鉄記念広畑病院の統合再編基本計画（案）の中に記載されていないが、新県立病院で小外傷に対応するよう確約していただきたい。</p> <p>また、本圏域は、開業医の数が非常に少ない。新県立病院の開院によって医師数が増加しても病院内に留まり、市井では増えず医師不足の課題が解決されないのではないか。</p>
Bオブザーバー	<p>基本的には、一次救急は市が担うもの、三次救急は県が担うものである。そのような中で、県が統合再編基本計画（案）の中で、一次救急について明記すると様々な問題が生じる。しかしながら、一次救急の対応については、市からも要望があり、また、本圏域の課題であると認識している。県は三次救急が基本であることに変わりはないが、一次救急も視野に入れて今後検討していききたい。</p> <p>開業医は、通常病院で勤務してから開業するケースが多い。新県立病院に医師が増えることによって、本圏域にとっても様々な効果があるのではない</p>

<p>F 委員</p>	<p>かと考えている。</p> <p>製鉄記念広畑病院の跡地医療について、新たな病院が担うことになるが、新たな病院が移ることによって病床数に移り、玉突きでその地域が医療の空白になる恐れがあるのではないかと危惧している。どのように解決策を考えているのか。</p> <p>また、姫路市南東部地域から新県立病院へ行く場合のアクセスについて、市川を横断するには県道白浜 姫路停車場線の阿保橋を通行することが多いが、周辺で交通渋滞が多く、交通の便が非常に悪い。道幅も狭く、救急車両が通行できるか危惧している。他に市川を横断できる橋が周辺にない。橋の整備についても、今後検討していただきたい。</p> <p>また、新県立病院において駐車場台数を900台程度計画しているが、市所管の文化コンベンション施設では400台程度計画している。文化コンベンション施設で駐車場が満車になった場合、新県立病院の駐車場を利用することが想定される。市としてもしっかりと取り組むべき課題であるが、駐車場のあり方についてどのように考えていくか県からも様々知恵をいただきたい。</p>
<p>B オブザーバー</p>	<p>南西部地域の医療については、製鉄記念広畑病院がイベントゾーンへ移ることにより三次救急は新県立病院が担うこととなる。圏域内から医療機能が移った場合、移る前の地域にどのような医療機能が必要であるか、どのような医療機能を残す必要があるかを考えていかなければならない。</p> <p>南東部地域の交通状況については、担当ではないが、県と市と協力して考えたい。</p> <p>駐車場台数については、県病院内でも議論している。現在、ゾーニングや駐車場位置などを県と市で検討している。両者で十分検討の上、課題解決していきたい。</p>
<p>G オブザーバー</p>	<p>高等教育・研究機関について検討するのであれば、今後、獨協学園の関係者も本会議に出席していただいた方が良いのではないかと。</p>
<p>副座長</p>	<p>今回は、新県立病院と本市との関わり方として、高等教育・研究機関についてご説明申し上げた。今後、ご説明する際は考えたい。</p>
<p>副座長</p>	<p>政策的な医療ではあるが、感染症の対応について、病床の確保など現在考えていることはあるか。</p>
<p>B オブザーバー</p>	<p>感染症の対応については様々な課題があり、病床を確保する必要があるかも含めて今後検討したい。</p>
<p>副座長</p>	<p>本市として要望したいこともあり、今後協議させていただきたい。</p>
<p>座長</p>	<p>姫路市医師会内でも様々な意見があり、改めて要望したい。</p>
<p>3 閉会 (15 : 15)</p>	